

## ボランティア・市民活動の「連携・協働」を考える

～コロナ禍を乗り越え、楽しく活動を進め、よいよい地域をつくる～

コロナ禍では、人と人とが互いに接触する機会を減らすことを求められてきました。ボランティア・市民活動も、活動を制限したり、それまでの活動の方法を見直さざるを得ない状況が続いています。

一方、子どもや子育て世帯の貧困、不登校や学習課題、高齢者・障害者の社会的孤立、外国をルーツとする人々の生活など、社会のさまざまな分野に多くの課題が輻輳して生じています。ボランティア・市民活動は、こうしたなかでも地域の課題を解決するため、一つの分野に留まらない人々や団体が、連携・協働しながら取り組んでいます。

今回の「広がれボランティアの輪」連絡会議勉強会では、ボランティア・市民活動における「連携・協働」とは何か、またコロナ禍での連携・協働の取り組みを学ぶとともに、参加者による情報交換を通じて、ボランティア・市民活動における「連携・協働」のこれからを考えます。



**日 時** 2022年2月2日(水) 13時30分～16時 (2時間30分)

**開催方法** オンライン開催(Zoom)

**参加対象** ボランティア・市民活動を推進する人々(NPO、中間支援組織、協同組合、教育・青少年団体、ボランティア受入施設・団体、企業・労働組合、社協担当者等)、ボランティア・市民活動に参加している方、連携・協働に関心のある方。

### プログラム

◆開会挨拶 上野谷加代子(「広がれボランティアの輪」連絡会議 会長)

◆基調講演(40分)

「ボランティア・市民活動における連携・協働」 諏訪 徹さん(日本大学文理学部社会福祉学科 教授)

◆事例紹介(各20分・計40分)

(1)阪神・淡路大震災からの30年近いコミュニティづくりと連携・協働

中村順子さん(兵庫県 認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長)

(2)食を通じた多世代型居場所づくりの連携・協働実践

渡邊公子さん(神奈川県 一般社団法人 ふうとカフェ鎌倉 代表理事)

◆グループ討議(40分)

「連携・協働の取り組みの実際」「どのような連携・協働をめざすか」をテーマに、情報交換を行います。

◆閉会あいさつ 原田正樹(「広がれボランティアの輪」連絡会議 副会長)



**申込方法** 「広がれボランティアの輪」連絡会議ホームページからお申込みください。

<https://www.hirogare.net/> **広がれボランティア** で検索

「広がれボランティアの輪」連絡会議 事務局

東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター内

電話 03-3581-4656 FAX 03-3581-7858 Eメール [vc00000@shakyo.or.jp](mailto:vc00000@shakyo.or.jp)

この勉強会は、中央共同募金会「公益信託高橋保蔵記念福祉振興基金」の助成を受けて行います